

4 (2) 道徳の研究

研究の柱Ⅲ 目的意識のある総合単元ユニット

総合単元ユニットとは、豊かな体験活動を土台として、自己をしっかりと見つめ道徳的価値の自覚を深め、それを表現していくシステムである。

子どもたちがいくらか正しい知識を身に付けたり正しい認識をしたりしたとしても、それが抽象的で概念的な理解にとどまり、子どもたちの内面的な自覚を伴った「内からの変化」として具体的に見えてこなければ、本当に自分のものにしたことにはならない。

よりよく生きたいと子どもの内なる願いを引き出し、各ユニットで適切な教育的刺激を加えつつ、総合単元ユニット方式によって、道徳性を育成していきたい。

発信ユニット

さらによりよく生きたいという願いを表出させることによって、より主体的に活動する。
・子どもたちの意思を強め行為へのエネルギーを高める。

各教科
特別活動
総合的な
学習の時間
体験活動

子どもの
生活経験

体験ユニット

体験活動などを通して、自分がどう感じ方をしているかを確認する。
・子どもたちの豊かな感受性を高める。

道徳的実践意欲
道徳的態度

ねらいに迫る

道徳的な
行為・習慣

道徳性
の育成

問題状況
の確認

道徳的判断力
道徳的心情

思考創造ユニット

道徳の時間で高められた価値観に基づいて新たな自己表現活動を創造する。

・子どもたちの思考力、表現力、想像力を高める。

解決策を
吟味する

複数の解決策を
探求する

心ユニット

道徳授業によって心情を培い、自分たちの価値観を高める。
・道徳的判断力・道徳的心情・道徳的実践意欲

研究の柱Ⅳ 今年度の指導の重点と「スマイリング道徳授業」

今年度の指導の重点をもとに、学校行事等と合わせて道徳性を育てていく。

スマイリング道徳授業に関しては、「かがや木」を利用し、全校児童が見えるポートフォリオ評価を行っていく。

1年生を迎える会

かけはし活動

120周年式典

今年度の指導の重点

あいさつなどの基本的な生活習慣、社会生活上のきまりを身に付け、善悪を判断し、相手のことを考えて行動する心情を育む

たてわり清掃活動

USO（縦割り班活動）

さよなら集会

研究の柱Ⅴ 道徳において考えられる評価法

パフォーマンス評価

子どもが課題に取り組み

思考し判断し表現する過程を評価

情報の理解力、文脈の解釈、

既存の知識や経験へ結び付け

知識や技能の活用などを評価



ポートフォリオ評価

成果をファイルに収録し学習状況を把握

道徳ノート・かがや木

自己評価の記録

⇒道徳ノートやワークシートを系統的に蓄積、

学期や学年ごとの、中・長期的な評価

教師と子どもたちのカンファレンス（相互評価）



自己評価

授業における見取りとする

各々の自己課題を大切にしながら

自己省察としての自己内対話での評価

毎時間、自分の心と向き合い、

個人内評価を行う

